

せいけん
詩集

第百二十八篇

作：近藤せいけん

「電波時計」
でんぱどけい

一秒もくるわない

カッチン カッチン

音もない

だけど 時々 青い光を

出すんだよ

まるで 宇宙船
うちゅうせん

ピッピ。ピッピ。ピッピ。

光の電波 未来の時計
ひかりでんぱ みらいどけい

カレンダー

温度 湿度もわかるけど
おんど しつど

カッチン カッチン

音もない

静かな 音なし未来時計
しずか な ねなし みらいどけい

まるで 宇宙船の 船の中
うちゅうせん の ふね の なか

ピッピ。ピッピ。ピッピ。

光の電波 未来の時計
ひかりでんぱ みらいどけい

